

豊田PCB廃棄物処理事業の状況報告について

1 豊田PCB廃棄物処理事業の処理実績

(1) 豊田PCB廃棄物処理施設での処理実績

(表-1) PCB廃棄物の処理量 (中間処理完了ベース)

令和5年9月末現在

	(注1) 変圧器類 (台)				(注2) コンデンサー類 (台)				(注) 廃PCB (本)	保管容器 (箱)	純PCB 処理量 (トン)
	大型	小型	車載	合計	健全品	処理手間物	小型機器 (10kg未満)	合計			
H17年度合計 (試運転物含む)	8	33	8	49	1,185	0	0	1,185	33	0	31.8
H18年度合計	19	55	3	77	1,592	13	0	1,605	1	0	63.7
H19年度合計	26	146	19	191	2,227	62	0	2,289	15	0	115.9
H20年度合計	36	242	26	304	3,743	93	0	3,836	30	0	186.4
H21年度合計	40	221	25	286	4,616	137	0	4,753	47	2	199.4
H22年度合計	33	135	19	187	3,528	242	0	3,770	56	10	163.1
H23年度合計	33	85	24	142	3,658	252	0	3,910	28	10	144.4
H24年度合計	40	147	33	220	4,923	203	0	5,126	64	17	217.9
H25年度合計	52	100	49	201	5,778	127	66	5,971	123	23	207.5
H26年度合計	41	50	57	148	4,798	1,031	44	5,873	22	197	213.2
H27年度合計	26	17	61	104	4,405	1,292	487	6,184	27	381	190.6
H28年度合計	27	17	58	102	4,392	825	2,103	7,320	93	396	165.5
H29年度合計	14	17	65	96	3,846	1,096	3,462	8,404	99	450	171.2
H30年度合計	15	29	64	108	2,271	601	4,073	6,945	323	432	112.7
R元年度合計	49	40	61	150	1,344	395	4,084	5,823	300	603	96.2
R2年度合計	2	29	57	88	1,141	94	1,486	2,721	371	363	83.5
R3年度合計	4	14	13	31	1,061	166	865	2,092	426	267	46.4
R4年度合計	0	8	0	8	588	66	335	989	200	68	21.4
R5年4月	0	0	0	0	72	20	60	152	23	17	1.7
R5年5月	0	0	0	0	89	7	15	111	0	0	1.6
R5年6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年7月	0	0	0	0	11	3	5	19	26	2	0.5
R5年8月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
R5年9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年10月											
R5年11月											
R5年12月											
R6年1月											
R6年2月											
R6年3月											
R5年度合計	0	0	0	0	172	30	80	282	50	19	3.8
合計	465	(※2) 1,385	(注4) 642	2,492	(※1) 55,268	(※1.2) 6,725	(※2) 17,085	(注4) 79,078	2,308	(注4) 3,238	2,434.7

(注1) : 変圧器類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。大型変圧器とは重量が1.62 tを超えるもの又は小型トランス解体ラインでは処理できないもの。

(注2) : 健全品コンデンサーは連結コンデンサー、サージアブソーバーを含む。処理手間物は、寸法外・海外製・漏洩品のコンデンサー。

(※1) 大阪事業エリアのPPコンデンサー4,987台 (健全品4,557台、処理手間物430台) を含む。

(※2) 北九州事業エリアの変圧器4台、コンデンサー484台、PCB油84本 (8.81kg)、保管容器39箱を含む。

(注3) : 廃PCBとはドラム缶、ペール缶や試薬ビンに入った廃PCB油

(注4) : 他事業所に搬出し処理した車載変圧器158台、炭化コンデンサー125台とその保管容器79箱は除く。

(2). PCB廃棄物の受入状況（令和5年9月末現在）

豊田PCB処理事業所の操業開始後、令和5年9月末までのPCB廃棄物の受入実績（試運転含む）は、変圧器類2,493台（継続保管4台）、コンデンサー類79,100台（継続保管484台、PPコンデンサー4,987台含む。）、廃PCB油が2,311本（継続保管84本含む）、保管容器3,241箱（継続保管39箱含む）です。

（表-2） PCB廃棄物の受入状況（搬入ベース）

	変圧器類(台)			コンデンサー類(台)	廃PCB		保管容器(箱)
	大型	小型	車載		(本)	(kg)	
試運転時 H17年6～8月	1台	5台	8台	588台	33本	7,330kg	—
操業時 H17年9月～							
H17年度合計	11台	42台	—	1,156台	—	—	—
H18年度合計	16台	52台	3台	1,192台	1本	300.0kg	—
H19年度合計	27台	147台	21台	2,449台	30本	8,407.5kg	—
H20年度合計	36台	235台	24台	3,834台	15本	2,703.6kg	—
H21年度合計	41台	227台	26台	5,012台	47本	13,321.1kg	2箱
H22年度合計	34台	128台	22台	3,875台	56本	13,328.0kg	10箱
H23年度合計	31台	87台	21台	3,603台	28本	8,099.0kg	10箱
H24年度合計	46台	156台	34台	5,467台	68本	19,337.7kg	17箱
H25年度合計	53台	88台	50台	5,862台	133本	35,107.5kg	23箱
H26年度合計	43台	53台	60台	5,953台	16本	1,288.5kg	210箱
H27年度合計	27台	19台	60台	6,514台	27本	313.0kg	368箱
H28年度合計	22台	11台	60台	7,688台	87本	402.2kg	401箱
H29年度合計	13台	18台	62台	8,342台	166本	2,717.1kg	456箱
H30年度合計	15台	35台	64台	6,468台	287本	15,610.2kg	439箱
R元年度合計	46台	34台	64台	5,365台	288本	37,317.4kg	588箱
R2年度合計	1台	26台	56台	2,703台	363本	35,138.1kg	361箱
R3年度合計	2台	15台	7台	1,988台	442本	9,046.3kg	269箱
R4年度合計	0台	7台	0台	1,000台	194本	291.3kg	82箱
R5年4月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年5月	0台	0台	0台	2台	8本	0.3kg	0箱
R5年6月	0台	0台	0台	11台	18本	1.5kg	0箱
R5年7月	0台	0台	0台	6台	1本	0.1kg	2箱
R5年8月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R5年9月	0台	1台	0台	22台	3本	28.7kg	3箱
R5年10月							
R5年11月	R5年10月～R6年1月の受入計画は別紙1のとおり						
R5年12月							
R6年1月							
R5年度合計	0台	1台	0台	41台	30本	30.5kg	5箱
操業期間合計	464台	1,381台	634台	78,512台	2,278本	202,759.1kg	3,241箱
試運転含む全受入量	465台	1,386台	642台	79,100台	2,311本	210,089.1kg	3,241箱

参考: 令和5年度(令和6年1月)末までのPCB廃棄物の受入計画(搬入ベース)

東海(4県8市)からの受入計画

	変圧器類(台)	コンデン サー類(台)	廃PCB		保管容器(箱)
			(本)	(kg)	
10月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
11月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
12月計画	0台	37台	5本	9.1kg	3箱
R6年1月計画	0台	7台	2本	3.7kg	0箱
小計	0台	44台	7本	12.8kg	3箱

中国四国(継続保管)からの受入計画

	変圧器類(台)	コンデン サー類(台)	廃PCB		保管容器(箱)
			(本)	(kg)	
10月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
11月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
12月計画	0台	2台	0本	0.0kg	2箱
R6年1月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
小計	0台	2台	0本	0.0kg	2箱

総受入計画

	変圧器類(台)	コンデン サー類(台)	廃PCB		保管容器(箱)
			(本)	(kg)	
10月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
11月計画	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
12月計画	0台	39台	5本	9.1kg	5箱
R6年1月計画	0台	7台	2本	3.7kg	0箱
小計	0台	46台	7本	12.8kg	5箱
R5年度合計(見込)	1台	87台	37本	43.3kg	10箱
操業期間合計(見込)	2,454台	78,558台	2,285本	202,771.9kg	3,246箱
試運転含む全受入量(見込)	2,468台	79,146台	2,318本	210,101.9kg	3,246箱

(3). PCB処理事業区域(東海4県8市)の受入進捗状況

(表-3)届出区域別 搬入残状況 (JESCOに登録された廃棄物)

※令和5年月9月末現在

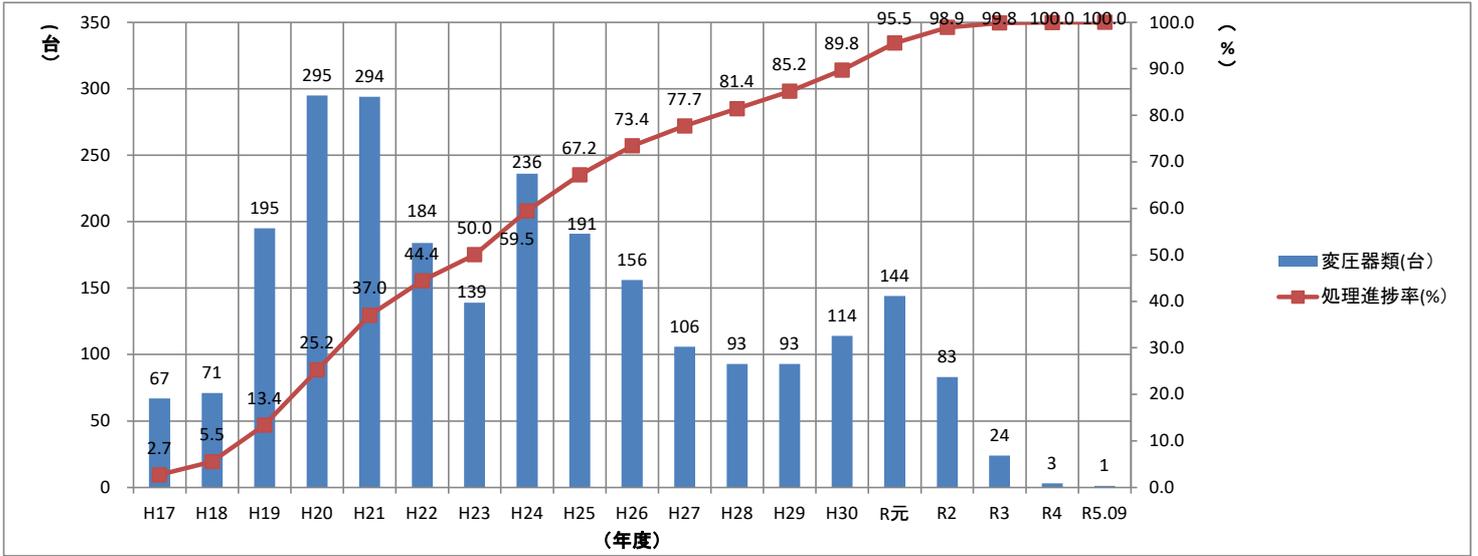
区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	コンデンサー台数	廃PCB		保管容器
豊田市	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
愛知県	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
名古屋市	3	3	0台	11台	0本	0.0kg	0箱
豊橋市	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
岡崎市	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
一宮市	1	1	0台	1台	1本	0.0kg	0箱
岐阜県	1	1	0台	9台	0本	0.0kg	1箱
岐阜市	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
静岡県	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
静岡市	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
浜松市	1	1	0台	5台	0本	0.0kg	0箱
三重県	0	0	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
合計:	6	6	0台	26台	1本	0.0kg	1箱
継続保管(中国四国)	2	2	0台	2台	0本	0.0kg	2箱
総計:	8	8	0台	28台	1本	0.0kg	3箱

(表-4)届出区域別 進捗率 (試運転物を含みます。)

区域名称	保管者	事業場	変圧器	コンデンサー	廃PCB		保管容器
豊田市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
愛知県	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
名古屋市	99.8%	99.8%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%
豊橋市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
岡崎市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
一宮市	99.4%	99.5%	-	99.8%	80.0%	99.6%	100.0%
岐阜県	99.9%	99.9%	100.0%	99.8%	100.0%	100.0%	99.6%
岐阜市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
静岡県	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
静岡市	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
浜松市	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%
三重県	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
合計:	99.96%	99.96%	100.0%	99.97%	99.96%	100.0%	99.97%
継続保管(中国四国)	99.3%	99.3%	100.0%	99.6%	100.0%	100.0%	95.1%
総計:	99.94%	99.94%	100.0%	99.96%	99.96%	100.0%	99.91%

(グラフー1)東海(4県8市)のPCB廃棄物処理進捗状況(令和5年度9月現在)

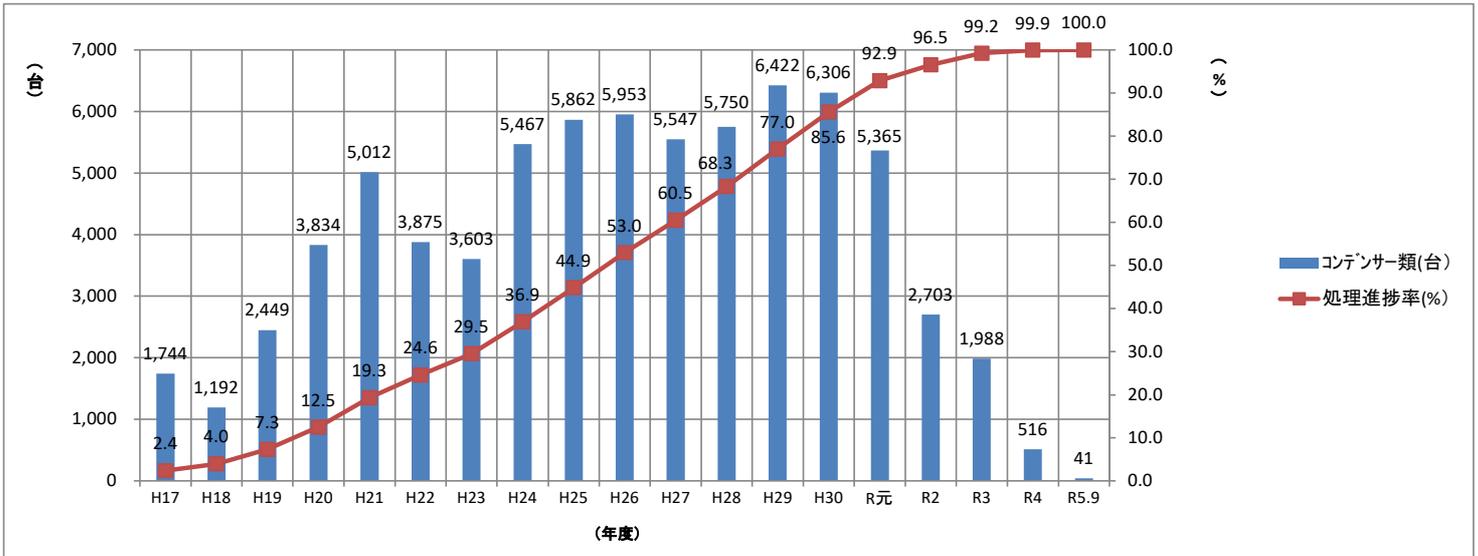
【変圧器類】 受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.09	合計
変圧器類(台)	67	71	195	295	294	184	139	236	191	156	106	93	93	114	144	83	24	3	1	2,489
処理進捗率(%)	2.7	5.5	13.4	25.2	37.0	44.4	50.0	59.5	67.2	73.4	77.7	81.4	85.2	89.8	95.5	98.9	99.8	100.0	100.0	

※登録量(分母): 令和5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む)=2,489台(地域間移動の車載変圧器、中国・四国の継続保管となった変圧器は除く。)
 ※実績量には、地域間移動の車載変圧器、中国・四国の継続保管となった変圧器は除く。

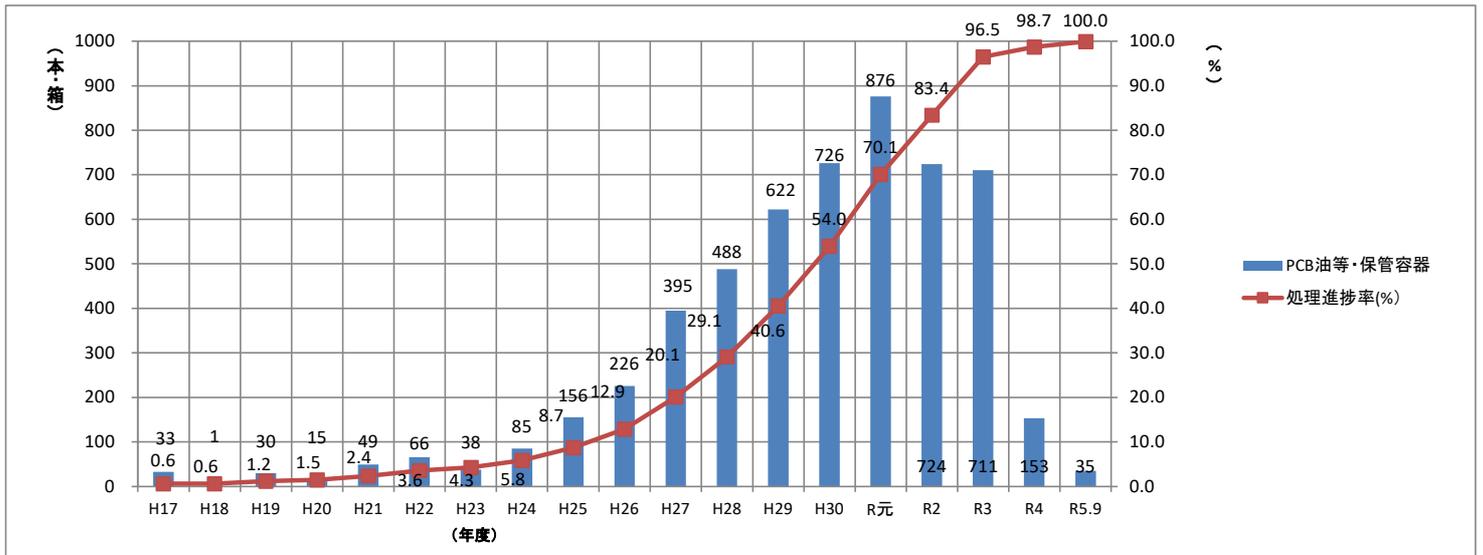
【コンデンサ-類受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.9	合計
コンデンサ-類(台)	1,744	1,192	2,449	3,834	5,012	3,875	3,603	5,467	5,862	5,953	5,547	5,750	6,422	6,306	5,365	2,703	1,988	516	41	73,629
処理進捗率(%)	2.4	4.0	7.3	12.5	19.3	24.6	29.5	36.9	44.9	53.0	60.5	68.3	77.0	85.6	92.9	96.5	99.2	99.9	100.0	

※登録量(分母): 令和5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む)=73,655台(地域間移動の炭化コンデンサ-は除く。)
 ※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサ-は除く。
 ※大阪事業からのPPコンデンサ-, 中国・四国の継続保管となったコンデンサ-は除く。

【PCB油等及び保管容器】 受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.9	合計
PCB油等・保管容器	33	1	30	15	49	66	38	85	156	226	395	488	622	726	876	724	711	153	35	5,429
処理進捗率 (%)	0.6	0.6	1.2	1.5	2.4	3.6	4.3	5.8	8.7	12.9	20.1	29.1	40.6	54.0	70.1	83.4	96.5	98.7	100.0	

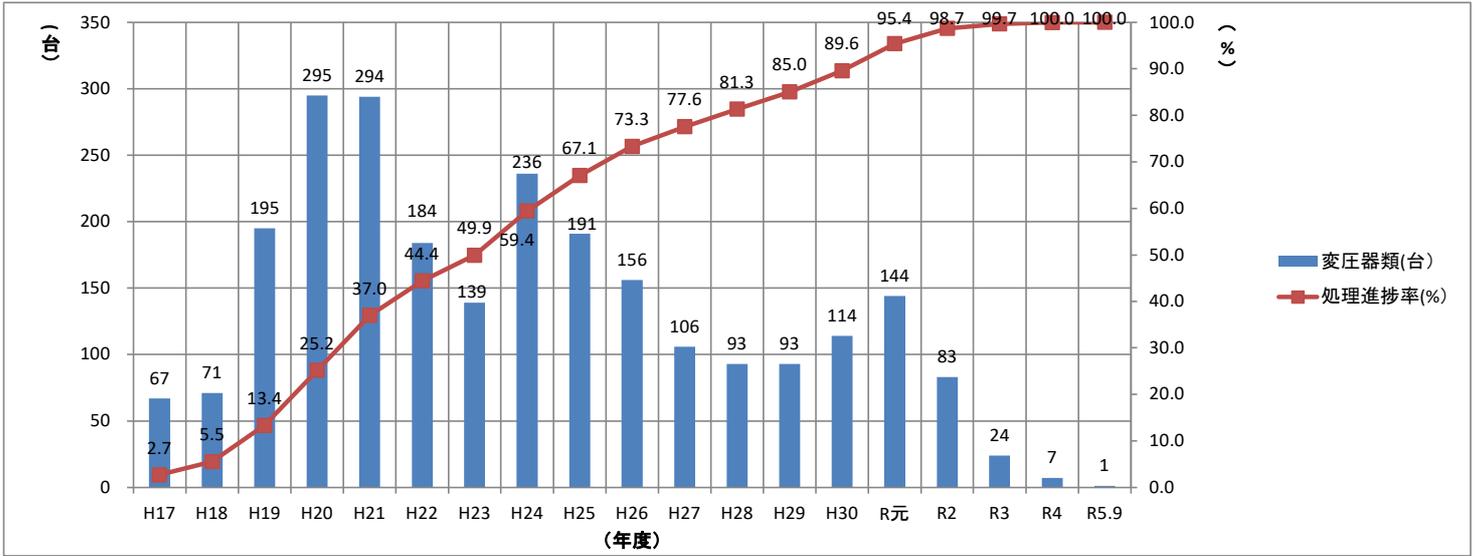
※PCB油類には、保管容器を含む。

※登録量(分母): 令5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む)=5,430本・箱(地域間移動の中国・四国の継続保管となったPCB油類及び保管容器は除く。)

※実績量には、地域間移動量の中国・四国の継続保管となったPCB油類及び保管容器は除く。

(グラフー1) 豊田PCB廃棄物処理事業のPCB廃棄物処理進捗状況(令和5年度9月現在)

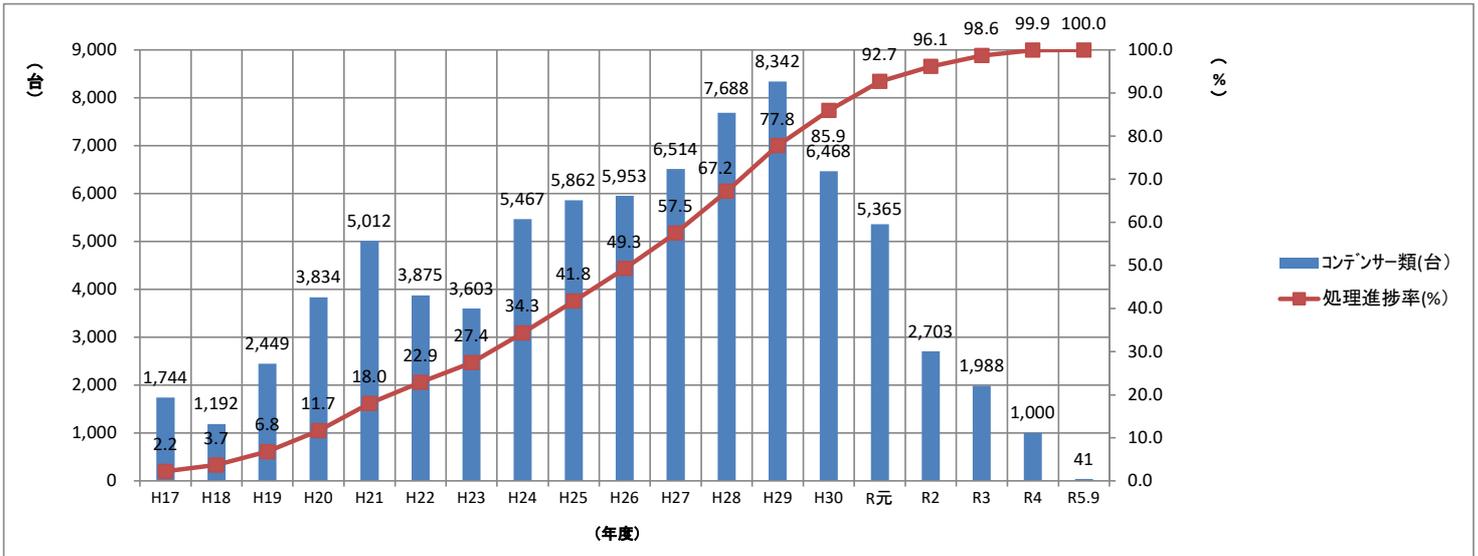
【変圧器類】 受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.9	合計
変圧器類(台)	67	71	195	295	294	184	139	236	191	156	106	93	93	114	144	83	24	7	1	2,493
処理進捗率(%)	2.7	5.5	13.4	25.2	37.0	44.4	49.9	59.4	67.1	73.3	77.6	81.3	85.0	89.6	95.4	98.7	99.7	100.0	100.0	

※登録量(分母): 令和5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む)=2,493台(地域間移動の車載変圧器は除く。中国・四国の継続保管となった変圧器を含む。)
 ※実績量には、地域間移動の車載変圧器は除く。中国・四国の継続保管となった変圧器を含む。

【コンデンサ-類受入ベース

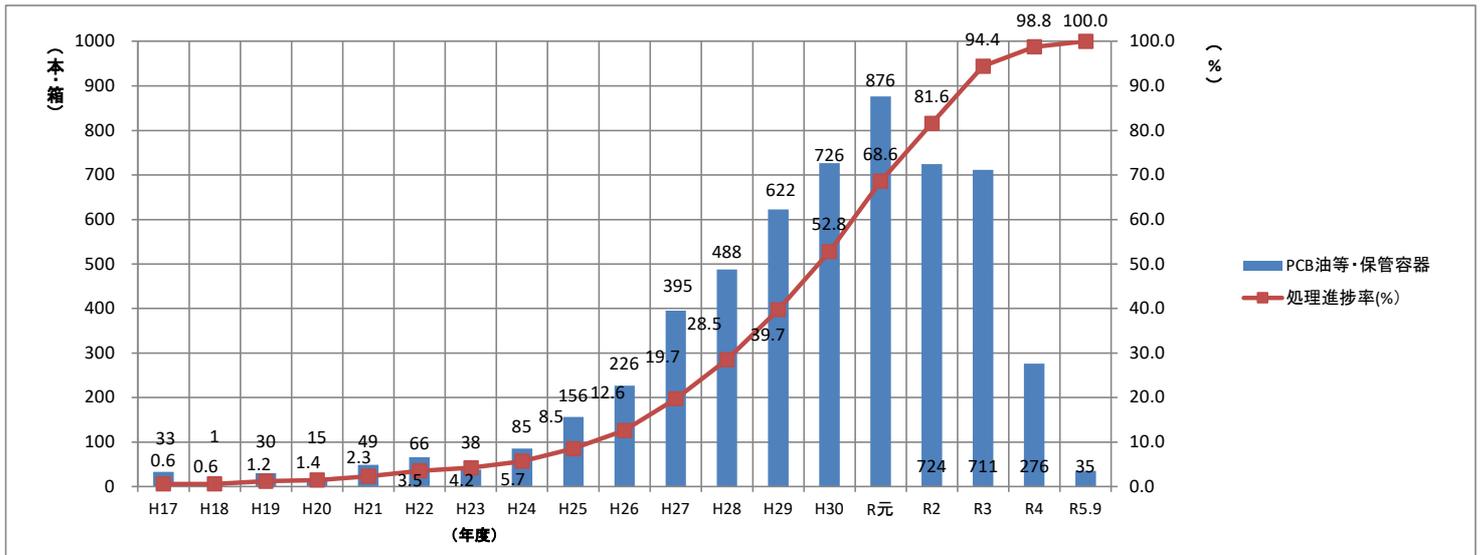


年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.9	合計
コンデンサ-類(台)	1,744	1,192	2,449	3,834	5,012	3,875	3,603	5,467	5,862	5,953	6,514	7,688	8,342	6,468	5,365	2,703	1,988	1,000	41	79,100
処理進捗率(%)	2.2	3.7	6.8	11.7	18.0	22.9	27.4	34.3	41.8	49.3	57.5	67.2	77.8	85.9	92.7	96.1	98.6	99.9	100.0	

※登録量(分母): 令和5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む)=79,128台(地域間移動の炭化コンデンサ-及び、中国・四国の継続保管となったコンデンサ-を含む。)

※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサ-及び、中国・四国の継続保管となったコンデンサ-を含む。
 ※大阪事業からのPPコンデンサ-は除く。中国・四国の継続保管となったコンデンサ-を含む。

【PCB油等及び保管容器】 受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5.9	合計
PCB油等・保管容器	33	1	30	15	49	66	38	85	156	226	395	488	622	726	876	724	711	276	35	5,552
処理進捗率 (%)	0.6	0.6	1.2	1.4	2.3	3.5	4.2	5.7	8.5	12.6	19.7	28.5	39.7	52.8	68.6	81.6	94.4	98.8	100.0	

※PCB油類には、保管容器を含む。

※登録量(分母): 令5年度9月末までのJESCO登録量(試運転含む) = 5,556本・箱(地域間移動の中国・四国の継続保管となったPCB油類及び保管容器を含む。)

※実績量には、地域間移動量の中国・四国の継続保管となったPCB油類及び保管容器を含む。

2 周辺環境への影響の状況

(表-1) 排出源モニタリング

操業開始から令和5年9月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)		令和4年	令和5年			管理目標値等	単位
				10月	1月	4月	7月		
排気	PCB	1~4系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01	mg/m ³ N
		5系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
		6系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
	ダイオキシン類	1~4系	0.026(平成18.10)	0.000078	0.000092	0.000023	0.000021	0.1	ng-TEQ/m ³ N
		5系	0.000062(令和5.1)	0.0000063	0.000062	0.0000031	0.0000022		
		6系	0.00089(令和2.10)	0.0000024	0.0000063	0.0000075	0.0000022		
ベンゼン	1~4系	2.2(平成22.10)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	50	mg/m ³ N	
	3-2系	71(平成19.1)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満			
排水 (放流口)	PCB	0.0005未満		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	mg/L	
	ダイオキシン類	0.13(平成19.2)		0.0018	0.0014	0.0014	0.0021	5	pg-TEQ/L
騒音	騒音レベル	昼間	69(平成19.1)	—	66	—	—	70	dB(A)
		夜間	68(平成19.1)	—	65	—	—	65	
振動	振動レベル	昼間	50(令和5.1)	—	50	—	—	65	dB
		夜間	50(平成31.1)	—	46	—	—	65	
悪臭	アセトアルデヒド	0.039(平成20.10)		0.005	—	—	—	0.05	ppm
	トルエン	0.9未満		0.9未満	—	—	—	10	ppm
	キシレン	0.1(平成18.9)		0.1未満	—	—	—	1	ppm

(表-2) 周辺環境モニタリング

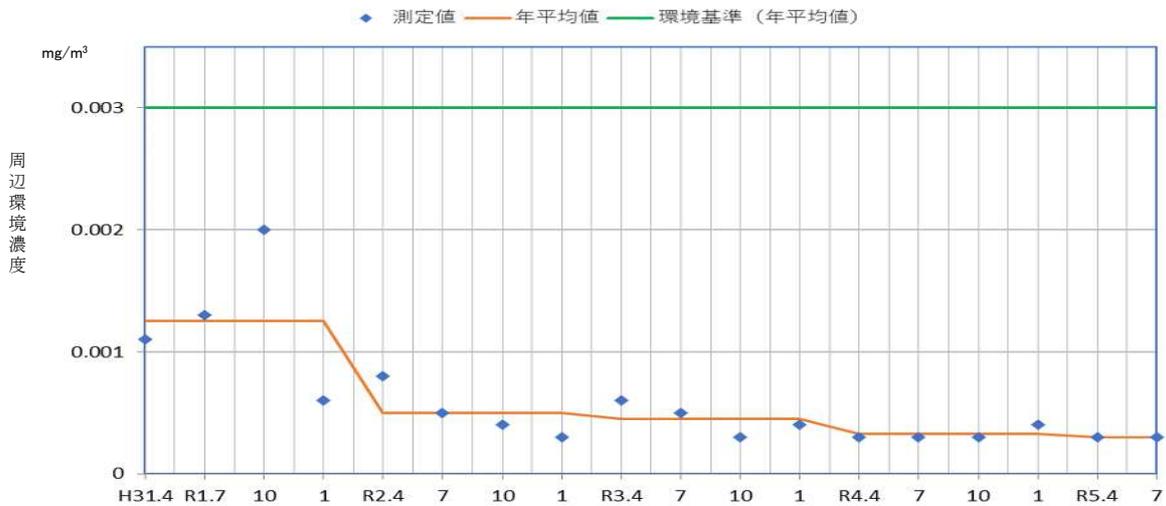
操業開始から令和5年9月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)		令和4年	令和5年			環境基準値等	単位
				10月	1月	4月	7月		
大気	PCB	0.000088(令和3.7) [8800pg/m ³]		0.0000018 [180pg/m ³]	0.0000017 [170pg/m ³]	0.0000030 [300pg/m ³]	0.0000091 [910pg/m ³]	0.0005を超えないこと(注1)	mg/m ³
	ダイオキシン類	0.057(平成20.1)		0.016	0.016	0.011	0.011	年平均0.6 (注2)	pg-TEQ/m ³
	ベンゼン	年平均0.0024(平成26年度)		0.0003未満	0.0004	0.0003未満	0.0003未満	年平均0.003 (注2)	mg/m ³
土壌	PCB	0.0005未満		0.0005未満	—	—	—	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	4.0(令和2.10)		2.9	—	—	—	1000	pg-TEQ/g
地下水	PCB	0.0005未満		0.0005未満	—	0.0005未満	—	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	0.075(平成19.2)		0.063	—	0.065	—	1.0	pg-TEQ/L

(注1) 評価基準値「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年12月22日付 環境庁大気保全局長通達)で示される環境中のPCB濃度。

(注2) ダイオキシン類及びベンゼンの大気環境基準は、豊田施設の存在する工業専用地域には適用されません。

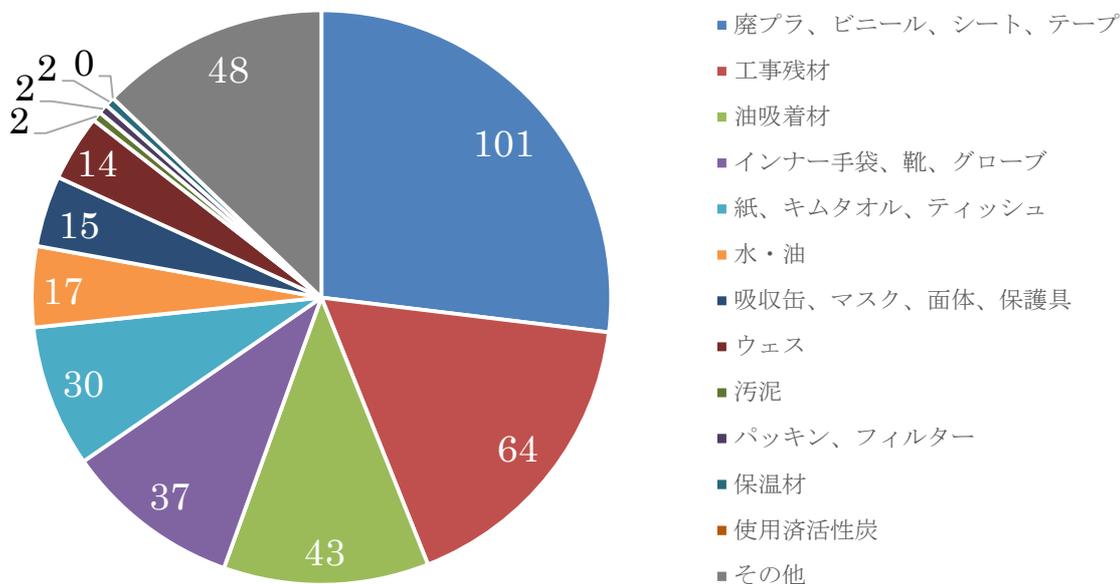
<参考> 周辺環境中のベンゼン濃度の推移



3 運転廃棄物の保管及び処理の状況

① 運転廃棄物入りドラム缶の保管状況（令和5年9月30日現在）

合計 375 本（内訳は下図の通り）



② 運転廃棄物の所内処理及び外部処理の実績（令和5年9月30日現在）

年度	事業所内処理			北九州事業 所処理委託 高濃度品 (注1)	外部処理（ドラム缶数）	
	防護服	ポリ袋	廃油		実証試験	無害化認定業者処理 委託(低濃度品(注1))
平成23年度	14,400着	640kg	2,643L	—	—	—
平成24年度	15,750着	700kg	1,743L	—	108本	—
平成25年度	18,000着	549kg	373L	—	74本+約 204本相当	306本+約62本相当
平成26年度	17,325着	666kg	526L	—	—	550本+約153本相当
平成27年度	18,000着	684kg	1,212L	24本	—	521本
平成28年度	15,000着	540kg	584L	120本	—	1,200本
平成29年度	19,250着	875kg	271L	100本	—	1,354本
平成30年度	12,850着	711kg	777L	100本	—	1,279本
令和元年度	13,775着	905kg	141L	100本	—	971本
令和2年度	8,700着	665kg	0L	208本	108本	1,147本
令和3年度	6,800着	270kg	0L	468本	—	671本
令和4年度	4,875着	270kg	0L	120本	—	738本
令和5年度	3,000着	105kg	0L	0本	—	300本

(注1)高濃度品：PCB含有量 5,000mg/kg超、低濃度品：PCB含有量 5,000mg/kg以下

4 収集運搬について

前回の監視委員会以降、令和5年9月末までに発生した収集運搬及び保管時に伴うトラブル事例は以下の通りです。

(1) 収集運搬機器からの漏洩について

豊田PCB処理事業所に受け入れを行なった際に確認された漏洩事例(運搬容器内)は発生しておりません。

(2) 保管中機器からの漏洩について

豊田PCB処理事業所で搬入後、保管中に保管庫内にて漏洩が確認された事例は発生しておりません。

5 地域とのコミュニケーションについて

地域の皆様へは、JESCOホームページを始め、事業だよりや施設見学等を通じて、積極的な情報公開に努めており、その実績は以下のとおりです。

(1) 施設見学について

① 見学の実績

※令和5年度は令和5年9月30日現在

	市民関係		行政関係		企業関係		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和2年度	0	0	4	53	3	4	7	57
令和3年度	0	0	1	4	1	3	2	7
令和4年度	0	0	5	20	4	8	9	28
令和5年度	1	1	3	31	0	0	4	32

- *新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月3日～7月12日まで見学者の受入れを中止。
- *その後は見学者の受入れを再開したが、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響とPCB廃棄物処理事業の終盤を迎えていることもあり、見学者の人数は大きく減少した状況が続いています。

② 見学に関するアンケートの集計結果（令和2年4月～令和5年9月末まで、見学者124名）

質問1 説明は、わかりやすかったですか？（回答95人）			
	①わかりやすかった	②普通	③わかりにくかった
	99%（94人）	1%（1人）	0%（0人）
質問2 説明者の対応はいかがでしたか？（回答95人）			
	①良い	②普通	③良くない
	98%（93人）	2%（2人）	0%（0人）
質問3 本日の見学会は、参考になる内容でしたか？（回答95人）			
	①参考になる	②わからない	③参考にならない
	100%（88人）	0%（0人）	0%（0人）

(2) 関係自治体への情報提供

① 年末年始の挨拶

施設周辺と逢妻男川流域の19自治体を訪問し、年始の挨拶と事業の進捗状況等を説明する。

- ・令和4年1月5日～26日に18自治体を訪問し、1自治体は手紙で挨拶しました。
- ・令和5年1月13日～19日に19自治体を訪問し、現況報告と挨拶を行いました。

② 新任自治体長への挨拶

新たに区長に就任された自治体を訪問し、年度始めの挨拶と事業の概要等を説明する。

- ・令和4年度 新所長の就任を受け5月19日～28日に19自治体を訪問し挨拶しました。
- ・令和5年度 新任区長4自治体を5月10日に訪問し挨拶しました。

(3) JESCO地域協議会（平成25年度設置）

①目的：周辺自治体への情報発信と意見交換により、リスクコミュニケーションを推進する。

②構成：事業所周辺の三軒屋、樹木、本地新田、深田山、広久手、広久手町及び土橋の7自治体

- ・令和4年度 10月27日に開催し、操業状況等の説明と施設見学、意見交換を行いました。
- ・令和5年度 9月5日に開催し、操業状況や施設解体撤去の説明と施設見学、意見交換を行いました。

(4) 豊田PCB廃棄物処理事業だよりの発行（毎月1回）

- ・令和4年度 4月の216号～3月の227号まで、1年間に12回発行しました。
- ・令和5年度 4月の228号～10月の234号まで、毎月1回発行しています。

6 トラブルの報告

前回の安全監視委員会から、令和5年9月末までに発生した労働災害及び漏洩等に伴うトラブルはありません。

(1) 労働災害

平成30年4月8日の駐車場内での自転車の転倒災害を最後に休業災害は発生しておりません。

(2) 漏洩等

令和4年7月22日のグローブ弁からの漏洩トラブル以降の漏洩等は発生していません。